

お互いの命をまもり合おう

本単元で育成する資質・能力

チャレンジする力

表現する力

協力・貢献する力

- 1 日時 令和3年10月20日(水) 5校時
- 2 学年 3年3組36名(男子22名、女子14名)
- 3 単元名 お互いの命をまもり合おう
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、「自らの経験や調べたことをもとに、防災を進めていく上での課題を見付け、その課題の解決に向けて積極的に活動することを通して、自分だけでなく、他者の命を守る行動がとれるようになる」ことを目標に設定している。

本校は、総合的な学習の時間で、第1学年から系統的に地域学習に取り組んでおり、平成27年度からは第3学年で「防災」をテーマにしていた。「防災」では、どちらかと言えば、津波による被害を想定し、より安全に避難する方法や避難所での生活を考える学習であった。そのような中、平成30年度に西日本豪雨により被災し、本町では災害関連死を含め20名が犠牲になった。それ以降も、日本全国において様々な自然災害が起こっており、「防災」に関わる知識や実践力を身に付けることは、生徒にとって身近な課題であり、かつこれからの社会を生きていく上で必須となっている。

また、探究のプロセスを学ぶとともに、友達と協力して課題を解決する力や、自己の生き方を考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養う上で、本単元は大変重要であると考えている。

(2) 生徒観

本校の生徒は、総合的な学習の時間の第1学年「坂町のためにできること」において、地域の行事である水産祭に参加し、漁協の方と協力しながら、地域のためにできることを考え、行動する等、探究的な学習の過程を通して、課題を解決することを経験してきている。探究的な学習の過程やよさについても概ね理解している。このことに限らず、何事にも前向きに取り組む、建設的な話し合いができる集団である。

第3学年(105名)に実施した防災教育に関わる意識調査(令和3年7月実施、4段階尺度)の結果は次のとおりである。

質問項目	肯定的に回答した生徒の割合
災害が起きた時に、安全な場所(避難所)がどこか知っている。	95.4%
地域で起こりやすい災害の危険性について理解している。	95.4%
危険を予測して、自らの安全を確保したり、避難行動をとったりすることができると思う。	89.6%
他の人や地域の安全のために役立ちたいと考えている。	91.9%
自分の住んでいる地域で災害が起きたら、ボランティア活動に進んで参加したい。	93.1%

「防災」に関わる意識は全体的に高いが、この中では「危険を予測して、自らの安全を確保したり、避難行動をとったりすること」に対して、自信がない生徒が多い傾向にある。

(3) 指導観

指導に当たり、まずは地域に着目させ、地域のよさや現在ある様々な課題を抽出させたい。その上で、地域への愛着心を育みながら、平成30年度にあった西日本豪雨災害に触れることで「防災」の必然性を感じ取らせたい。そして、地域の「防災」に課題を焦点化する流れとする。

「防災」については、まずは様々な災害について学ぶことから始める。その際、身の回りで、いつどのような大きな災害が起こるか分からないことを理解することで、自分事として危機感をもって学習に入るようにさせたい。災害の種類によって、避難行動が変わってくることにも気付かせたい。

学習を通して、グループ学習を多用していく。他の生徒の意見に触れることで、より多面的・多角的に物事を考えられる力を身に付けることを期待したい。また、調査活動では、今年度から導入された一人1台タブレットを活用して、調べまとめる活動を確保するとともに、自衛隊や地域包括センターなどの立場の違う外部講師を招聘し、多面的・多角的に考える力を身に付けさせたい。単元中盤では防災新聞づくりをとおして、学習したことを整理・発信していくことで、深い学びとなるようにしたい。そして、新聞記事の内容から新たな課題を発見し探究しながら解決していく。そして、探究の過程を繰り返すことで、生徒が自分の大切な人のため、また、地域のために役立つことを考え行動できるようにしていきたい。

単元全体を通して、生徒の主體的な学びとなるよう、生徒にとって必然性がある課題とすること、できるだけ生徒に意思決定させること、運営等を生徒に任せること等を重視した学習展開としたい。

5 単元の目標

自分たちが生活している坂地域のよいところや課題を見付け、その課題の解決に向け地域の方と連携しながら活動することを通して、地域の一員としての自覚や誇りを持ち、自らの生き方について考え、行動しようとする。

坂地域では次の3つの力の育成を目指しているが、今回は「表現する力」を重点化して取り組むこととした。

坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿	
チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題に対してだけでなく、自分なりに目標をもち、果敢に挑戦しようとしている。 ・決めたことは、困難に負けず、やり切っている。 ・自ら課題を見付けたり、調べたり、工夫してまとめたりしている。
◎表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことや自分の考えなどを理解してもらえるように、目的や相手、場面に応じて、内容や方法、表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【行動力】 【感謝】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域の中での役割を自覚し、皆と協力して行動している。 ・地域の発展のためには、どのようなことをすればよいかを考え、行動している。

6 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の発生が、自然や人の生活等とどのような因果関係があるかを理解している。 ○安全・安心できる生活の実現のために、様々な人が取り組んでいることを理解している。 ○地域のために、自分たちができることがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を設定し、見通しをもって計画している。 ○災害や防災に関する必要な情報を収集している。 ○課題解決に向け、多様な情報の特徴に応じて整理し考えている。 ○発表やプレゼンテーションの際、相手意識を持って、分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 ○活動を通して、自分が坂町の未来の担い手であることに気付き、地域の一員であることに誇りをもつことができる。 ○地域貢献のため自分でできることを考え行動しようとしている。

7 他教科等との関連

国語科	社会科	理科	技術・家庭科	保健体育科
「間違いやすい敬語」 「編集して伝えよう」 「観察・分析して論じよう」 「目的や相手に応じて説明しよう」	「自然災害と防災への取組」 「多様な環境と環境保全の取組」 「持続可能な社会に向けて」	「天気とその変化」 「大地の変化」 「自然の恵みと災害」	「未来の技術についてレポートを作成しよう」	「傷害の防止について」

8 指導と評価の計画 (40時間 本時 39/40時間)

探究の過程	時間	主な学習内容	評価規準及び評価方法
課題設定 情報収集 整理・分析 まとめ・創造・表現	5	○地域を見つめ、地域の課題を発見・解決する。 ・ガイダンスでめあてとゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ・私たちが生活している坂地域のよさや課題を発見するためにタブレット等を活用し情報を収集する。 ・個人で収集した情報をグループで整理し気づきや感想、深めていきたいこと等を付加し、模造紙にまとめる。 ・クラス内で発表する。 ○活動の振り返りを行う。 ・発見した課題を「防災」に焦点化し、次の活動につなげる。	○課題を設定し、見通しをもって計画している。 (活動の様子、振り返り)
課題設定 情報収集 整理・分析	8	○災害・防災について理解するために、グループごとに情報収集し整理・分析する。 ・これまでの先輩の取組を理解する。 ・災害の種類と特徴を調査する。 ・人間生活と災害の関係を調査する。 ・災害への備えについて調査する。 ・ハザードマップをもとに避難路を確認する。 ・環境保全と防災との関係について調査する。 ○活動の振り返りを行う。	○災害の発生が、自然や人の生活等とどのような因果関係があるかを理解している。 (ワークシート、振り返り)
課題設定 情報収集 整理・分析	6	○自衛隊の活動を通し、防災に対する知識や、情報を収集する。 ・過去の大規模災害における自衛隊の活動。 ・広島県で、今後予想されている大規模災害。 ・災害に備え何をすべきか。 ・人命救助セット、簡易担架等の体験。 ○災害を風化させない、継承していく思いを込めて活動の振り返りを行う。	○災害や防災に関する必要な情報を収集している。 (活動の様子、振り返り) ○安全・安心できる生活の実現のために、様々な人が取り組んでいることを理解している。 (活動の様子、振り返り)

課題設定 整理・分析 実行 振り返り	7	<p>○災害の継承について課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 30 年豪雨災害追悼式」を企画、運営する。 ・各クラスでメッセージを作成する。 <p>(災害から学んだこと、命の大切さについて、協力することの大切さについて、感謝の気持ち、将来へ向けて、地域に貢献することについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会に招聘した地域の方から講話をいただく。 	<p>○発表やプレゼンテーションの際、相手意識を持って、分かりやすく伝えることができる。</p> <p>(成果物、発表の様子、振り返り)</p> <p>○地域のために、自分たちができることがあることに気付いている。</p>
振り返り まとめ 表現	6	<p>○防災新聞づくり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した内容のまとめや、実践したことをワークシートや ICT を活用し新聞づくりをする。 	<p>○課題解決に向け、多様な情報の特徴に応じて整理し考えている。</p> <p>(成果物、振り返り)</p>
課題設定	8 (1)	<p>○新聞記事から、自分の生活を振り返らせ課題を発見する。</p>	<p>○振り返りを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>(ワークシート、振り返り)</p>
整理・分析	(2)	<p>○既に実行していることや、できていることを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいっている場合は、なぜうまくいっているのかを整理・分析する。 ・本当に必要なかどうか、今はできないが、大人になったらできそうなこと等に分けながら整理・分析する。 	<p>○課題解決に向け、多様な情報の特徴に応じて整理し考えている。</p> <p>(成果物、ワークシート、振り返り)</p>
課題設定	(2)	<p>○整理・分析したギャップから課題を焦点化し設定する。課題設定の理由を明確にする。</p>	<p>○振り返りを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>(成果物、発表の様子、振り返り)</p>
情報収集	(1)	<p>○これまで学習したことを踏まえ、文献や ICT を活用し情報を収集する。</p>	<p>○災害や防災に関する必要な情報を収集している。</p> <p>(成果物、振り返り)</p>
情報収集 パフォーマンス課題	(1)	<p>○ゲストティーチャーにこれまで学習してきたことを発表するとともに、課題解決のための情報を収集し、地域のために行動し、自分のできそうなことを探す。</p>	<p>○地域貢献のため自分でできることを考え行動しようとしている。</p> <p>(成果物、発表の様子、振り返り)</p>

振り返り 実行（将来も含め）	(1)	○「お互いの命をまもり合おう」の振り返りの中で、今すぐできること、将来的にできることに分け、キャリアステージとリンクさせる。	○活動を通して、自分が坂町の未来の担い手であることに気付き、地域の一員であることに誇りをもつことができる。 (振り返り)
-------------------	-----	--	---

9 パフォーマンス課題【本時】

- ・地域のために自分ができることを考え、伝えることができる。

10 ルーブリック（評価基準）【本時】

評価基準	
Ⅲ	防災のために行動している人に感謝し、地域貢献のために、自分ができることを仲間や地域の人を巻き込んだ提案を考え伝えようとしている。
Ⅱ	防災のために行動している人に感謝し、地域貢献のために、自ら行動に移せる具体性のある提案を考え伝えようとしている。
Ⅰ	地域のために行動しようとする意識が薄く、地域の実状に応じて考えようとしていない。

11 本時の学習

(1) 本時の目標

地域の防災の視点から、様々な立場の人に話を聞き深く考え、行動しようとすることができる。

(2) 本時の展開（本時 39/40）

	学習活動	指導上の留意事項	資質・能力 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと、授業の流れを確認する。（4分）		
	めあて：地域のために、自分ができることを考え伝えよう		
展開	2 グループ発表（20分） ・各グループより、ICTを用いてこれまで学習したことのまとめと課題をゲストティーチャーに向けて発表し、意見をいただく。	・6班を3つのグループに分け発表する。 ・1つのグループの発表と質疑の時間は10分。 ・ゲストティーチャーは1つのグループにつき1人つく。（計3名招聘）	ゲストティーチャー ・坂町環境防災課職員 ・坂町地域包括支援センター職員 ・坂町住民（防災士）
	3 発表のまとめ（5分） ・ゲストティーチャーからいただいた回答や、アドバイス等を他の班に報告するためにまとめる。（5分）	・発表の形式や発表する時間を指示する。	
	4 全体発表（6分） ・各班でまとめたものを全体に発表する。		

	<p>5 個人思考（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のために、行動しようと考え自分にできることを考え伝える。 <p>6 発表（5分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人思考ができていない生徒に対して、ゲストティーチャーからのアドバイスや、これまでの学習を想起させ、言葉をつなげ文になるよう支援する。 ・ワークシートに自分にできることをまとめさせる。 	<p>○地域貢献のため</p> <p>様々な立場の人に話を聞き自分でできることを考え行動しようとしている。</p> <p>（成果物、発表の様子、振り返り）</p>
ま と め	<p>7 まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒代表によるお礼のことば ・ゲストティーチャーによる講評 ・担任より 		

12 準備物

- ・ ICT 機器 3 台、タブレット、ワークシート、模造紙（めあて・学習のながれ）

13 教室配置 多目的室

